

2017-2018

Weekly Bulletin of KAKOGAWA CHUO R.C.

●R.I.会長／イアン・H.S.ライズリー ●地区ガバナー／瀧川 好庸
●会長／大西 淳滋郎 ●幹事／井上 孝明 ●クラブ会報委員長／宮本 鹿司夫
●事務局／〒675-0064 加古川市加古川町溝之口 800 番地 加古川商工会議所会 5F
TEL 079-421-5152 FAX 079-421-5559 E-mail info@kakogawa-chuo-rotary.club



ロータリー：
変化をもたらす

第 2127 号

平成30年 5月 17日 (木) No 39

ゲスト卓話：地区青少年交換委員長 白井 務子氏



★ 会長挨拶



★ 地区青少年交換委員長 白井 務子氏



★ 田端会員

会長の時間

大西 淳滋郎

皆さん、こんにちは。今月は、青少年奉仕月間です。本日は青少年交換小委員会の白井務子委員長にお越し頂いております。ご指導の程、宜しくお願い致します。また、姫路東ロータリークラブの45周年を心よりお祝い致します。

今日は『カンバン』についてお話し致します。弊社は私で5代目になります。創業以来、寺家町商店街に店を構えておりました。「じけまち店」以外の本社機能・本社工場は先に移転を致しました。「じけまち店」の店舗は2005年にカピル21ビル（ヤマトヤシキ1F東南角）に場所を購入し移転いたしました。創業以来、多くのお客様に可愛がって頂いた店を別の場所に移転することにいろいろな意見がありましたが、なんとか移転ができました。この移転計画の中で一番の重要課題が、私が生まれたときから店の上に掲げられておりました「カンバン」です。この「カンバン」も一緒に移転したいと考えておりました。

「ゴクラクヤ」と左からの横書きです。私の記憶では「ヤクラクゴ」と右からの横文字でした。弊社の仕事から木工細工を生業としておりましたので、その時々修理をし守り続けてきたのだと思っております。金色に輝く文字の部分はその時々修理修復をしておりますが、文字が取り付けである台の部分はその当時のままの木です。色も焦げ茶色になり、表面がデコボコになるほど虫に食われておりますが、何とも言えない雰囲気と風格を醸し出しております。

この「カンバン」を製作した祖父からこの台の部分の話をよく聞かされておりました。祖父の話によりますと「この木は、陸地と舟とをつなぐ橋桁に使う木である。」と言うことでした。この木を使用した意味は「いつも足下をしっかりと見つめて、ゆっくり気をつけて世渡りをせよ。」であったと記憶しております。いつも小学校から帰ると祖父は位牌などの彫刻しながら、木の意味やら彫刻の方法、日本の風習、日本の歴史などいろいろと教えてくれました。跡を継ぐ者に自分が知っているいろいろな知識を伝えようと考えていたのだと思います。今、私が職人として生きていないのを祖父はどのように見ているのか、期待に込めずに申し訳のない思いでいっぱいです。でも、今現在となつては そのころに祖父から教えてもらったことが全国の職人さんに仕事を依頼するときに役に立っております。

しかし、祖父の頃に営んでいた「仏壇屋」と現在の「仏壇屋」とでは大きく違ってきました。弊社は常に進化と改革を続けおります。

これもまた、小学校の時に祖父から聞いた『あの坂本龍馬でも 孔子が言われた「君子は時に従う」と言って時代を変えていったんや。』と『今日良いと思っても明日はあかんかも分らないで。一度考えたことを変えられへんのは、時代に遅れるで。』という話を思い出します。

先人の功績を受け継ぎながら、「カンバン」を次の世代に引き継ぎたいと思っております。『不易流行』の気持ちと『伝統は改革の継続である。』という気持ちで続けてまいります。「日々新たな」気持ちで「カンバン」に負けずに頑張っていきます。会長の時間を終わります。